

症例報告1

要旨

ストーマ周囲皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

背景

2015年8月、憩室狭窄に対して緊急のハルトマン手術および結腸人工肛門造設術を受けるため入院しました。

患者の概要

患者は活動的な生活を送っている中年男性で、健康状態は良好です。併存疾患はなく、アレルギーの既往はありません。病院にて術後、標準的な装着期間のテープなし装具が装着され、退院帰宅後も同製品を使用し続けました。

問題

数週間の間、便漏れの問題も、ストーマ周囲の湿潤環境による皮膚障害(PMASD)の所見もないにもかかわらず、皮膚保護剤の下のストーマ周囲に皮膚刺激の所見を認めるようになりました(写真1)。患者は緊急電話で、皮膚が赤く、かゆみと痛みがあると訴えました。また、ストーマ袋が密着しておらず、人前でストーマ袋の不具合が起こることが心配になってきているとも訴えました。

ケアの実際

患者は、肌しやすい「ソフトフレックス皮膚保護剤」に変更するよう求められました。微生物培養・感受性検査用に皮膚のスワブ検体を採取しました。著しい増殖は検出されず、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の検査結果は陰性でした。数日でストーマ周囲皮膚に改善がみられるようになりました。ストーマ袋の接着は良好であり、皮膚の発赤と疼痛は改善し始めました。しかし、かゆみは持続し、睡眠を妨げていたため、ステロイド外用薬0.1%(開業医が処方)が開始されました(写真2)。

その1週間後、ストーマ周囲皮膚はさらに改善しており、開業医はステロイド外用薬の中止を勧めました。

裏面に続く



写真1 皮膚保護剤の下のストーマ周囲皮膚の刺激症状。



写真2 皮膚保護剤を変更し、局所ステロイドを塗布したところ、いくらか改善がみられました。



写真3 セラプラス皮膚保護剤を使用したところ、さらに改善がみられました。

セラプラス™

*リモイス技術使用

寄稿者および略歴

Sharon Colman RGN BSc (Hon)
ストーマケア専門臨床看護師

Hollister Limited

症例報告1

残念ながら、皮膚の炎症が再発し、かゆみと刺激症状が増していきました。そのため、抗炎症薬による疼痛緩和が必要となりました。局所ステロイドは長期治療としては使用すべきでないため、開業医はステロイド外用薬の投与を再開しませんでした。次に「ソフトフレックス皮膚保護剤」から「セラプラス皮膚保護剤」に変更しました。

結果

「セラプラス皮膚保護剤」に変更してから2日以内には、ストーマ周囲の刺激症状およびかゆみがなくなったと患者は述べました。抗炎症薬による疼痛緩和は不要となりました。(写真3)。

結論

これは、いくつかの理由で困難な症例でした。異なる皮膚保護剤を使用しましたが、いずれもストーマ周囲の密着は良好で漏れは認められなかったものの、ストーマ周囲皮膚に刺激症状およびかゆみが生じました。

術前および術後に情報が提供されるにもかかわらず、ストーマ保有者の多くは、ストーマ周囲皮膚に問題が生じて、ストーマを造設したら、仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れていきます³。幸い、この患者は支援を求め、ストーマ周囲皮膚は目に見えて改善しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマ周囲の十分な密着を達成し、漏れを防止しても、ストーマ周囲皮膚を健康に保つには十分でないこともあります。皮膚保護剤の成分もストーマ周囲皮膚の健康に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.* J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study.* PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A *Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.* World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「セラプラス皮膚保護剤」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての症例に適応できるとは限りません。

ご使用前にパッケージに同梱された「製品の使用目的」「禁忌」「警告」「注意事項」、および「使用方法」を必ずお読みください。

Hollister (ホリスター) のロゴ、CeraPlus、および「Healthy skin. Positive Outcomes. (『健康な肌』からより良い毎日を支える。)」はホリスター社の商標です。

その他のすべての商標と著作権はそのそれぞれの所有者に帰属します。

製品の中にはCEマークがついていないものもあります。

© 2019 Hollister Incorporated.



リモイスはアルケア株式会社の技術です。



製造元 Hollister Incorporated

販売元 株式会社ホリスター

0120-032-950